

各 位

上場会社名 石垣食品株式会社
代表者 代表取締役社長 石垣 裕義
(コード番号 2901)
問合せ先責任者 経理部経理課 課長 小西 一幸
(TEL 03-3263-4444)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	323	13	14	8	2.50
今回修正予想(B)	328	10	10	10	2.97
増減額(B-A)	4	△2	△3	2	
増減率(%)	1.5	△21.2	△26.2	26.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	320	0	1	4	1.75

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	551	9	10	6	1.77
今回修正予想(B)	559	9	9	9	2.85
増減額(B-A)	8	0	△0	3	
増減率(%)	1.6	3.9	△3.7	61.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	541	△4	△3	△1	△0.54

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	323	—	14	8	2.50
今回修正予想(B)	327	12	10	10	3.06
増減額(B-A)	4	—	△3	1	
増減率(%)	1.5	—	△25.5	22.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	320	1	0	5	1.76

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	551	—	10	6	1.77
今回修正予想(B)	559	8	7	7	2.12
増減額(B-A)	8	—	△2	1	
増減率(%)	1.6	—	△29.0	19.7	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	541	△10	△11	△6	△2.07

(注)上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確実な要素を含んでおります。

実際の業績は今後様々な要因によって当社の見込みと異なるかもしれないことをご承知おきください。

修正の理由

(1) 単独

第2四半期累計期間の売上高について、飲料事業では主力の麦茶が、他社商品との競争激化や、最盛期の7～8月において天候が、暑さが長続きしない不順な模様であったこと、お盆明けから急速に気温が冷え込んだことなどから減収となりました。昨秋投入した新製品の「ごぼう茶」について、一部マスコミ報道の影響もあり取扱店舗を順調に拡大して、麦茶の減少を補い、飲料事業全体では前期並みとなりました。

珍味事業ではビーフジャーキーが、駄菓子向けなどのOEMを中心に引き続き順調に販路を拡大し、2桁の増収を続けております。

その他業務用商品では、ナルトは新規取扱先の開拓に成功し増収となったものの、乾燥野菜が供給先商品の取扱い中止となり出荷が停止されることとなったことから、大幅な減収となりました。

飲料事業は前年並み、ビーフジャーキーが大幅な増収、その他が大幅な減収となったことから、売上高の合計はほぼ想定通りの数値となったものの、本来最も利益を計上すべき夏季の麦茶が減収となった為、利益率が想定を下回り、営業利益、経常利益が当初予想より下回ることとなりました。また法人税等の金額を見直したことから、刺繍損益は当初予想を上回ることとなりました。

通期の業績予想につきましては、第3、第4四半期においてビーフジャーキーとごぼう茶が引き続き伸長を見せ、当初想定を上回るとの修正を行っておりますが、概ね当初想定通りの予想としております。

以上より、上記のとおり業績予想の修正を行います。

(2) 連結

連結対象である中国子会社は、生産する全商品を親会社向けに供給する生産子会社であるため、単独の業績予想の修正に準じ、連結予想を修正いたします。

以 上